

企画名: 自然エネルギー100%大学キャンペーン

団体名: 自然エネルギー100%研究会

1. 報告要旨

設定目標の達成状況において、自然エネルギー100%を宣言する大学は増加しなかったが、2020年度での増加を改めて目指す。脱炭素化キャンパスの普及啓発を目的として、岡山大学にて行われたSDGsフォーラムにて、自然エネルギー100%大学キャンペーンをテーマに分科会を実施した。またコロナ対策として、大学ではなく、ウェビナーにて活動報告会を2度開催した。成果物として、岡山大学にて実施した分科会について、瀬戸内海放送が報道。

(2020/02/23、[『持続可能な開発目標』達成へ 岡山市でSDGsフォーラム](#))

実施による学びとしては、大学に自然エネルギー割合の高い電力を購入することを促すためには、調査対象となる大学と電力会社との契約形態を事前・アンケート調査実施時に調べる必要性を感じた。そのため、2020年度に実施予定のアンケート調査では契約形態を調べた上で、電力会社切り替えが比較的容易な大学をスクリーニングすることを目指す。

ハイライトとして、調査に協力してもらった関西の大学の殆どは、自然エネルギー普及や温暖化対策に殆ど関心がないということが分かった。2020年度の調査キャンペーンにおいては、①大学の温暖化対策が示す社会的責務、②大学が温暖化対策によって得られる教育・財政上のメリットを強く示し、大学が温暖化対策をするインセンティブを提供する。

2. 成果物

1. [アンケートの実施](#) (関西地方の大学を対象に実施、28大学より回答)
2. 「[SDGsフォーラム in 岡山 2020](#)」にて分科会「再生可能エネルギー100%をめざして～エネルギーの選択～」を開催 (2020/2/23)
3. 瀬戸内海放送「[『持続可能な開発目標』達成へ 岡山市でSDGsフォーラム](#)」(2020/02/23)
4. 自然エネルギー100%大学キャンペーン調査報告会① (2020/3/13)
5. 自然エネルギー100%大学キャンペーン調査報告会② (2020/3/24)
6. [脱炭素投資研究会ウェブサイト](#) (継承団体として2019年度「自然エネルギー100%大学キャンペーン」の活動報告を掲載)